

県小中学教研会報

発行 石川県小中学校教育研究会
 金沢市尾山町10番5号
 石川県文教会館内
 電話(076)262-4916

編集 石川県小中学校教育研究会
 広報部

印刷 株式会社 山 越



第2回研究大会（県地場産業振興センター）

今後の教育研究会への期待



石川県小中学校教育研究会

副会長 出雲千映子

石川県小中学校教育研究会が発足して三年目となる本年度、役員として携わり、その存在意義を認識すると共に、これまでご尽力いただいた皆様のおかげで礎が築かれてきたことを、感慨深く受け止めております。

本会は、県内郡市町の学校教育研究会や教科等の研究を行う四十余りの研究組織から構成されており、教員として、プロ意識や誇りを持ち、自らの指導力の向上をより一層高めていくことができるよう、県内の情勢を視野に入れながら、研究を推進しております。そして、いしかわの子どもたちが、確かな学力・豊かな心・健康や体力を身につけ、「未来を拓く心豊かな人」として育ててほしいと願い、本年度も取り組んでまいりました。

八月に開催された第二回研究大会では、各郡市町協議会において、学力向上の取組や人材育成の在り方について、熱心に協議されました。各地区ごとに特色があり、有意義な情報交換ができ、もう少し時間がほしかったと好評でした。また、各教科等の研究団体の実践に加え、本年度は新たに教育実践研究（奨

励研究）の発表も行われ、質の高い活発な実践交流となりました。そして、本会の重要な機能である各種教科等研究団体の大会の時期や開催地の調整が順調に進んでおり、今後、県内の様々な地域で計画的に大会が開催されていく運びとなりました。さらに、本年度は、より多くの皆様に本研究会の活動の様子を伝えようと考え、年度末には、各校に研究紀要をお届けする予定です。

石川の強みは、授業研究の文化が古くから根付いていることです。是非ともオール石川で、「石川の授業研究文化の継承と発展」を目指し、一人ひとりが虚心坦懐に耳を傾け、よりよいものを吸収し、自分の財産としたいものです。どうか、会員の皆様には、積極的な研究活動への参加を期待しております。

最後となりましたが、石川県教育委員会、石川県市町教育長会をはじめ石川県小中学校長会や石川県小中学校教頭会など関係諸機関の皆様のお力添えに厚く感謝申し上げますと共に、引き続きご支援のほど宜しくお願いいたします。

《研究会紹介》

七尾市学校教育研究会

七尾市学校教育研究会は、七尾市内の十三校の小学校と六校の中学校の計十九校の教職員をもって構成されています。以下、本年度の取組の一端を紹介させていただきます。



生活科研究会の研修会の様子

本会では「七尾市立小中学校の教育活動の推進に寄与する」を目標とし、めざす児童像として、次の四点を掲げています。

- ①ふるさとに誇りを持ち、将来の夢を語れる七尾っ子
- ②確かな学力を身につけ、自ら学ぶ意欲に満ちた七尾っ子
- ③責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな七尾っ子
- ④健康や体力の増進に努め、たくましく生きる七尾っ子

さらに、重点目標を「授業研究会を通して、一人ひとりの授業力の向上を図り、学校力を強化する」としています。会員一人ひとりが、その所属する研究会

の活動を通して、授業力の一層の向上を図り、それを各学校に還元することで、学校全体の授業力、ひいては学校力を高めることをねらいとしています。

研究会の構成は、大きく教科別研究会と専門別研究会に分かれます。教科別研究会は、市内の小中学校の全教職員をもって構成しています。国語科教育研究会、社会科教育研究会に始まり、栄養教諭・栄養職員研究会、事務職員研究会まで、十五の研究会があります。専門別研究会は、基本的には学校代表を持つて構成され、学校図書館研究協議会、視聴覚教育・教育工学研究協議会、特別活動・キャリア教育研究会、特別活動・キャリア教育研究会まで、十四の研究会があります。

次に、具体的な活動内容を紹介します。四月の組織会・全体会に始まり、五月、六月、十月、十一月、一月に各研究会の研修会を開催しています。

四月の組織会・全体会には、七尾市教育委員会の教育長・学校教育課長以下、事務局の方々の臨席を賜り、指導を仰ぎつつ連携強化を図っています。

五・六月、十・十一月の研修会は、それぞれセットになっており、まず、学習指導案事前検討会を行い、研究授業・授業整理会の開催となります。事前検討会では、授業者だけでなく、参加者全員が指導案を作成して持ち寄ることが原則です。そう

することでより深く教材研究や検討が行われ、会員一人ひとりの授業力向上につながります。それが研究授業及び授業整理会の一層の深化・活性化につながっています。また、学習指導案事前検討会・研究授業・授業整理会には、石川県教育センター及び中能登教育事務所の指導主事に要請訪問をしていただき、指導を仰ぐことで、研修会の一層の充実を図っています。

なお、研修会開催時間は、各校の授業にできるだけ支障が出ないように十五時三十分開催を原則とし、研究授業を行う際は、開催校の日程に合わせています。最後に、私たちは、本会の目標を達成するために、今後も石川県及び七尾市教育委員会の指導をいただきながら、着実に取組を進めていきたいと考えています。

(文責 七尾市立中島小学校 荒巻 雅博)

鳳珠郡学校教育研究会

鳳珠郡学教研は、能登町の中学校四校と小学校五校、そして穴水町の中学校一校と小学校二校、百七十七名の会員で構成され、一人五百円の会費と鳳珠郡学校教育振興会からの助成金によって運営されている。

十四部会から成る第一群部会と、三部会から成る第二群部会があり、第一群部会は一人一部会で全員が所属し、部会の部長は校長が務めている。しかし、



奥能登学校教育研究会(小学校)体育科の授業の様子

今年閉校により校長の人数が減ったことで、その内一つの部会の部長は教頭が務めている。

第一群部会は年間六回され、授業研究会を核にして研修を重ねている。今年度は、奥能登学校教育研究会が鳳珠郡で開催されることで、臨時に第一群部会を一回増やし指導案検討に充てている。

奥能登学校教育研究会は、教科研究の充実のため、平成二十三年度に二市一郡(鳳珠郡、珠洲市、輪島市)の各学校教育研究会員で構成された広範囲な会として発足し、翌二十四年度からは小学校と中学校に分かれて合同の授業研究を行っている。前述したように、今年度は鳳珠郡会場となり、各教科部会がこれまで研究してきた成果を公開し、有意義な研究会となるように努めている。その際に、協議の柱を次のように決めて、指導案作成時より意識して取り組んでいる。

①習得すべき知識・技能を明確

にした授業

基礎的知識・技能の活用

①習得した知識・技能を活用する力を育む、学習課題や学習活動を工夫した授業

②学習意欲の向上につながる「使える」「分かる」「できる」実感をもてる授業

言語活動の充実

①考えの「根拠や道筋」を明確にして、説明や論述をさせる学習活動を取り入れた授業

②「根拠」の取り出し方、考えの「道筋」のたて方(論理的思考)を意識、習熟させる学習活動を取り入れた授業

七月二日(水)には小学校研究会が十二月三日(水)には中学校研究会が開催された。公開授業後のグループ協議では、積極的な討論が繰り広げられた。

鳳珠郡でも、児童数や学校数の減少により会員数も年々減ってきている。その影響で、部に偏りが生じている。技術・家庭部会は部員が所属していないために休部となって久しい。県小中学校教育研究会の動向によつては、鳳珠郡学教研の組織及び活動の見直しを迫られることが予想される。県小中学校学教研の活動と連動して、郡学教研は今後も努力を惜しまず教科等の専門的研究に励み、各部会の研究活動を一層充実させ、鳳珠郡の学校教育を充実したものにしていきたい。

(文責 能登町立小木小学校 中田 晴夫)

平成二十七年県内開催予定の研究発表会

中部地区大会

中部地区小学校道徳教育研究会

・輪島市立鳳至小学校

・十一月六日(金)

北信越地区大会

北信越地区学校図書館研究大会

・白山市、野々市市

・十一月十九日(木)・二十日(金)

県内各種大会

県国語教育研究会

・金沢市・二学期

石川国語の会

・金沢市・十二月

石川書写教育研究会

・加賀市・六月

県社会科教育研究会

・小松市・十月

県小学校社会科教育研究会

・未定・十二月五日(土)

県算数教育研究会

・小松市立第一小学校

・十月二十八日(水)

県中学校数学教育研究会

・開催予定なし

県理科教育研究協議会

・七尾、鹿島

・十月十六日(金)

県音楽教育研究会

・加賀市・十一月二十日(金)

県園工・美術教育研究会

・金沢市・十一月十三日(金)

県学校体育研究会

・白山市、野々市市・未定

県小学校家庭科教育研究会

・小松市・十月十四日(水)

県中学校技術・家庭科研究会

・羽咋中学校・十月

県中学校英語教育研究会

・羽咋郡市・十月

県学校道徳教育研究会

・輪島市立鳳至小学校(中部地区大会と合同)

・十一月六日(金)

県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

・金沢市

秋(今年度内決定)

県特別活動研究会

・能美市

三学期(今年度内決定)

県小中学校視聴覚教育研究協議会

・鳳珠郡(能登町)

・十一月十九日(木)

県学校図書館協議会

・白山市、野々市市(北信越大会と合同)

・十一月十九日(木)・二十日(金)

県特別支援教育研究会

・七尾市、鹿島郡(七尾サンライフプラザ)

・十一月二十日(金)

県特別支援学級設置学校長協会

・県特別支援教育研究会と合同開催

県養護教育研究会

・金沢市(県文教会館、金沢商工会議所)

・八月三日(月)・四日(火)

県公立小中学校教育事務研究会

・白山市鶴来文化会館(クレイン)

・八月十八日(火)・十九日(水)

平成26年度 教育実践研究 (平成27年度 学校教育研究大会発表予定者)

Table with 5 columns: No, 団体個人, 団体名・個人名, 所属, 研究主題, 教科領域等. Contains 10 rows of research entries.

「石川県小中学校教育研究会」第3回研究大会

- 日時 平成27年8月11日(火)
会場 県地場産業振興センター(金沢市鞍月2丁目1番地)
日程と内容
午前「郡市町教育研究会協議会」...各郡市町教育研究会代表による今年度活動方針の協議、情報交換等
午後「全体会」
・開会式...会長挨拶及び午前中の会の報告
・講演会...講師 岡野 昇氏(三重大学教授・博士)
4月からは学習院大学大学院講師を兼任
2010年より、学びの共同体研究会スーパーバイザー
元金沢市小学校教員
専門 心理学、体育科教育学、学校教育学
演題 「未定」
主著 「21世紀型学校教育への提言」
「創造とスポーツ科学」など多数
※学校現場の授業研究に多数関与し、教師と協同で授業改革と学校改革を進めています。当日は、一人残らず子どもの学びを保障することを目指した「学び研究」について、皆さんと共に考えてみたいと思います。
「分科会」
・交流研究協議会...今年度の奨励研究(左表参照)の成果を、4分科会に分けて発表して頂き、協議して研修を深めます。
※午前からの参加です。昨年の第2回大会の熱気をさらに引き継ぎ、全県教職員の学びの一日にしたいと思います。多くの会員の皆様のご参加を待っています。(日程や内容は現時点のものであり、変更する場合がありますので、ご了承下さい。)

編集後記

八月に「石川の授業研究文化の継承と発展」をテーマに、第二回研究大会が盛大に開催されました。その報告を中心とした特集号である第五号を送り出し、今年度二号めの会報第六号をお届けいたします。

本号では、各郡市の教育研究会や各教科等研究会の活動状況や取組の様子を四つの団体から報告していただきました。

どの研究団体もこれまで私たちが大切に育ててきた「指導力や指導技術」といった教師にとって大切な財産を、いかにしてこれからの世代へ受け継いでいくのか、そして発展させていくのかといった思いが感じられる。今後も本研究会が着実に成長していくことを期待したいと思えます。

会報第五号及び第六号の発行にあたり、たくさんの方のご協力やご支援をいただき、本当にありがとうございました。

(広報部 浅水 剛司)

広報部

- 部長 浅水 剛司(金沢・菊川町小)
副部長 新田 香輪島(河井小)
幹事 松原 仁(金沢・森本中)
西田 素子(金沢・森本小)
森田 直子(かほく・高松中)
座主 雄一(金沢・材木町小)